「華麗なるヴァイオリンデュオ」



荒川以津美　Izumi Arakawa
（ヴァイオリン）
東京芸術大学附属音楽高校、東京芸術大学音楽学部を経て同大学院修了。
その後、読売日本交響楽団入団。95年アフィニス文化財団海外研修員としてパリ、ベルリンに留学、96年ブーローニュ音楽院室内楽科に於いてプルミエ・プリを取得。日本モーツァルト音楽コンクール前田賞奨励賞受賞。日本室内楽音楽コンクール入選。NHK洋楽オーディションに合格、NHK.FMコンサートに出演。
現在、読売日響でオーケストラ活動する他、リサイタル、様々な形の室内楽活動、協奏曲ソリスト等、幅広く活躍している。

杉本真弓 Mayumi Sugimoto
（ヴァイオリン）
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。第31回毎日学生音楽コンクール中学生の部西日本第1位。92年読売日本交響楽団入団。93年霧島国際音楽祭奨励賞受賞。同年、国際室内楽アカデミー・ウィーン・プラハ・ブダペストへ招待を受ける。96年ルイ・グレーラー室内楽基金助成を受ける。ソロ、室内楽の活動を継続的に行なっている。また、2017年よりバロックヴァイオリンに興味を持ち研鑽を積んでいる。2020年第21回大阪国際音楽コンクール・アーリーミュージック部門エスポアール賞。

ヴァイオリン　荒川以津美 ・ 杉本真弓

ヴァイオリンデュオのための名作を、ナレーション付き演奏でお楽しみいただきます。

10月28日（土）①午後1時～ ②午後3時～
場所：港区立郷土歴史館
住所：東京都港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内
参加費：無料　　※各回約30分

＜プログラム＞

・テレマン 「ガリバー組曲」
後期バロック時代、バッハを凌ぐ人気作曲家であったテレマンが、当時大流行したスイフト作「ガリバー旅行記」を基に書いたヴァイオリン二重奏のための作品。物語のナレーション付きで演奏いたします。

・バルトーク「44のデュオ」より
民族音楽研究者でもあったハンガリーの大作曲家バルトークによる、東欧諸国民謡の旋律を用いたヴァイオリン二重奏のための作品。民謡風作品44曲から抜粋いたします。

・ルクレール　2つのヴァイオリンのためのソナタ集より
バロック時代の作曲家で、フランスに於けるバイオリニストの巨匠でもあったルクレールらしい、2つのヴァイオリンの華やかな技巧が楽しめる作品です。



■ 共催：JIA 日本建築家協会港地域会
港区立郷土歴史館